

僧たちの森。ミャンマー

ミャンマー現地報告

□上□

第二次世界大戦で二十万人の旧日本軍兵士が命を失ったビルマ(現ミャンマー)戦線。九州から米第2艦隊などの部隊が編成された。あれから半世紀。最後の激戦地・マンダレー管区メッティーラで、九州の日本人僧りよたちが中心になって子どもたちの命を守る闘い「ミャンマーヘルスプロジェクト」に挑んでいる。

□ □ □ 「(一)は学校ではない。僧りよが教師役を務める」寺で通えない。

寺子屋 赤土の上で教育支援

「(二)は学校ではない。僧りよが教師役を務める」寺で通えない。

子屋。教室は僧院の軒下や大きな木の下。パケンをひっくり返したような雨が

唯一の教育機関なのだ。

電線に止まったスズメのひっくり返したような雨が

よつに、びっしり長机に張り付いた子どもたち。教科書はもろもろ、ノートや鉛筆もない。だが、僧りよの言葉を一言も聞き逃すまいと、僧りよと黒板をこ

と見しめてる。初等科五年、中等科四年、

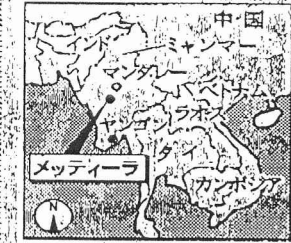
高校三年の五四三制。小中学校の授業料は無料だが、公務員の初任給が月一千五百チャット(約三百一五

百円)で、ほぼ同額の年間教材費を払える家庭は少ない。さらに地方に行けば遠く

「(二)した厳しい教育事情を知って支援に乗り出した」をこのメッティーラに「メッティーラは生死の境を分け、た町。怒霊の穴は、

ABAAの前身は、佐賀県ミャンマーの人々が自立す

ミャンマーヘルスプロジェクト九州の(A B A) 国際協力会(M.I.S)と岡山の(A M D A)の三者が協力し、教育、浄水、医療の分野から、ミャンマーの生活環境の改善に取り組む5カ年計画。1996年12月、ミャンマー政府との間で覚書を調印。シシラを全土に広げる方針



伊万里市内の僧りよたちが中心になってつくった「寺子屋」が、学校に代わる唯一の教育機関なのだ。

「(一)は学校ではない。僧りよが教師役を務める」寺で通えない。

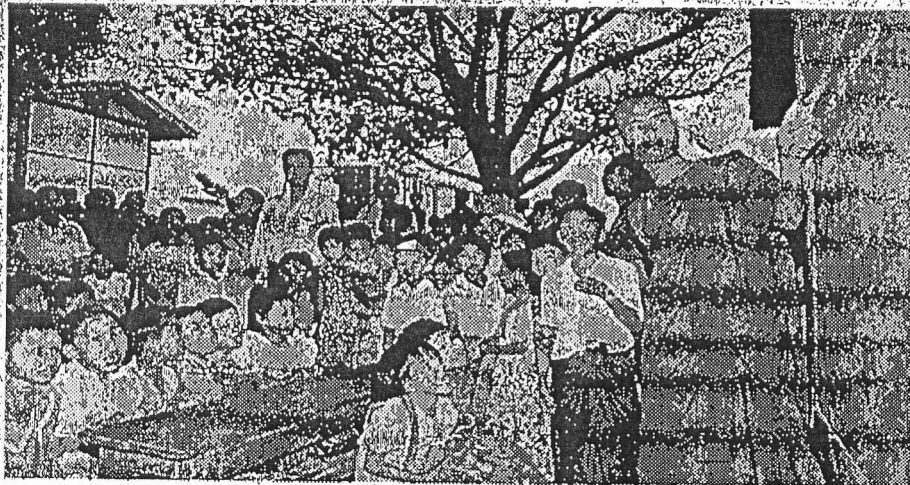
「(二)は学校ではない。僧りよが教師役を務める」寺で通えない。

「(二)は学校ではない。僧りよが教師役を務める」寺で通えない。

「(二)は学校ではない。僧りよが教師役を務める」寺で通えない。

「(二)は学校ではない。僧りよが教師役を務める」寺で通えない。

支援を受けた小学校のウチの子と私たちの目も生き生きとした。今後、勉強で土の大地に惹きつけたい。大宅理事長は



黒板だけの青空教室で授業を受けるミャンマーの子どもたち